記者発表資料

平成２０年　５月２８日
東北地方整備局
東　北　運　輸　局

東北圏広域地方計画シンポジウムを開催します
～６月２４日（火）ホテル ルイズ（盛岡市）～

東北圏※では、高齢化と若年層の都市部への流出などから、地域が結集して地域が抱える課題を解決していくことが出来にくい状況が増えつつあります。こうした中で、**一人ひとりの自立意識と協働による持続可能なコミュニティをどのようにしてつくっていくのか**、今後の方向性を考え、併せて東北圏広域地方計画への関心の喚起と広報を目的にシンポジウムを開催いたします。

◆　開　催　概　要　◆

○開 催 日 時：平成２０年　６月２４日（火）１３：３０～１６：５０

○開 催 場 所：ホテル ルイズ　３階　万葉の間
盛岡市盛岡駅前通７－１５

○内　　容：①基調講演
「東北圏における協働の地域づくりに向けて」
②パネルディスカッション
「明日につなぐ地域づくり」
～持続可能なコミュニティを目指して～

○出演予定者：別添チラシをご覧下さい。

○取　　材：会場内に記者席を用意しています。

※　東北圏：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県の７県からなる圏域

〈発表記者会〉：岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、新潟県政記者クラブ、
新県政記者クラブ、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先		
国土交通省　東北地方整備局 東北圏広域地方計画推進室	022-266-0014 総括副室長　金沢（かなざわ）　知集（ともち） 副　室　長　舟山（ふなやま）　和重（かずしげ）
国土交通省　東北運輸局 東北圏広域地方計画推進室	022-791-7507 副　室　長　大宮（おおみや）　勝（まさる）

明日につなぐ地域づくり

～持続可能なコミュニティを目指して～

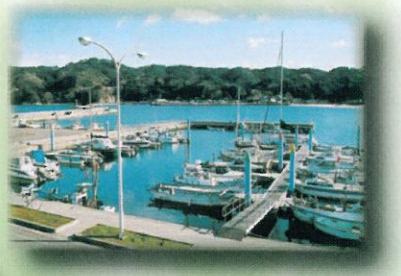
2008
6/24
（火）

13:30 ～ 16:50
（開場 13:00）

東北圏広域地方計画 シンポジウム







会場
ホテル ルイズ
（3F万葉の間）

盛岡市盛岡駅前通7−15
*詳細は裏面をご覧下さい。

入場無料
（定員２００名）

（参加のお申し込みが必要です。詳しくは裏面をご覧下さい）

基調講演

「東北圏における協働の地域づくりに向けて」

●講師／高崎経済大学 地域政策学部准教授
櫻井　常矢　氏

パネルディスカッション

「明日につなぐ地域づくり ～持続可能なコミュニティを目指して～」

●コーディネーター／山田 晴義　氏（宮城大学 副学長）
●パネリスト／遠藤 智栄　氏（オオス デザイン スタジオ NPOアドバイザー・プランナー）、竹内 昱俊　氏（福島県会津坂下町長）、
丸山 新　氏（村づくりの仕掛人（実践者））
●コメンテーター／櫻井 常矢　氏（高崎経済大学地域政策学部准教授）、大泉 太由子　氏（（財）東北開発研究センター主席研究員）、
尾田川 勝雄　氏（岩手県軽米町尾田川農園代表）

主催／国土交通省 東北地方整備局・東北運輸局
後援／宮城大学 地域連携センター
お申し込み・お問い合わせ／東北圏広域地方計画推進室
ＴＥＬ．０２２－２６６－００１４　ＦＡＸ．０２２－２６６－００２４

明日につなぐ地域づくり
～持続可能なコミュニティを目指して～

開催趣旨

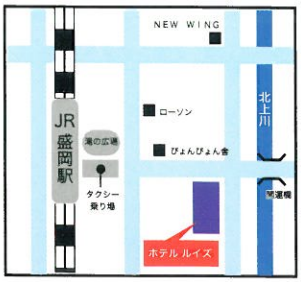
東北圏では、昔から、支え合い、助け合い、語り合う風土が培われ、地域のコミュニティが形成されてきていましたが、高齢化と若年層の都市部への流出などから、地域が結集して、地域の抱える課題を解決していくことが、出来にくい状況が増えつつあります。このような状況を転換するため、一人ひとりの自立意識と協働による持続可能なコミュニティをどのようにしてつくっていくのか、各方面の方々からお話しを伺い、今後の方向性を考えていきます。

日時

平成 20 年 6 月 24 日（火）　13:30 ～ 16:50（開場 13:00）

会場

ホテル ルイズ　盛岡市盛岡駅前通 7 － 15　※会場へは公共交通機関をご利用下さい



●コーディネーター
山田　晴義　氏



宮城大学副学長、
地域連携センター長（兼務）、
事業構想学部教授（兼務）

工学博士。専門は地域計画
2007 年度農村計画学会賞（論文）受賞

最近の主な著書：「地域コミュニティの支援戦略（編著）」
「コミュニティの自立と経営（編著）」
「遠野スタイル（編著）」

基調講演　「東北圏における協働の地域づくりに向けて」
高崎経済大学　地域政策学部　准教授　櫻井 常矢　氏

パネルディスカッション　「明日につなぐ地域づくり」
～持続可能なコミュニティを目指して～

●パネリスト
遠藤　智栄　氏



オオス デザイン スタジオ
NPO アドバイザー・プランナー

大学卒業後、経済雑誌の編集・企画、グリーンツーリズムなど地域活性化の企画、コンサルティング、調査などに携わる。2003 年には米国サンフランシスコの NPO で約 2 ヶ月間のインターンシップを修了。せんだい・みやぎ NPO センターの事務局次長、プロジェクトディレクターを経て、現在は国や県・NPO などが協働で進めるプロジェクトのディレクターとして、様々な NPO に関わる機会も多数。

●パネリスト
竹内　昱俊　氏



福島県会津坂下町長、大徳寺住職

町民の絆と地域コミュニティの再生を目指し、協働のまちづくりを進めている。これまで「自分たちのまちは自分たちが決める」を基本理念として公募した住民と行政とで「第 4 次振興計画」、さらに県内初の「まちづくり基本条例」を作ってきた。この過程で多くの組織づくりがなされ、その中から 3 つが NPO 法人として活躍している。

重視する政策：・少子化対策（地方教育のあり方）
・財政改革・人口減少にともなう町のあり方

主な経歴：・町議会議員　・（社）会津坂下青年会議所理事長
・会津坂下ライオンズクラブ会長
・会津坂下町国際交流協会理事長

●パネリスト
丸山　新　氏



村づくりの仕掛人（実践者）

元新潟県安塚町役場　農林課長、総務課長、助役　現在、(財) 雪だるま財団理事長、(株) キューピットバレイ取締役 NPO 法人自然王国ほその村専務理事を務める。

役場勤務時代から中山間地農業、農村の振興が自分の生きる道とし、農家と一緒に元気づくり（農業農村の再生）に取り組む。
むらづくりは「先を読み考え」「あせらず」「慌てず」「人をほめ決して怒らず」「先走らず」と。そして行動は「すばやく実践」を心の中においている。
有機農業に挑戦中（化学肥料農薬に頼らない米と野菜つくり）

●基調講演・コメンテーター
櫻井　常矢　氏



高崎経済大学 地域政策学部
地域づくり学科 准教授

教育学博士。専門は社会教育学・地域づくり教育
人材育成を軸とした市民協働や住民自治システムの構築に実践的にアプローチするなど、各種自治体政策にアドバイザーとして関与。住民向け学習会や行政職員研修を全国各地で重ねる。現在、大崎市政策アドバイザー（地域自治組織・市民協働担当）。山形県地域コミュニティ再生促進事業アドバイザー等を務める。
最近の主な著書：「NPO の教育力」
「コミュニティ再生と地方自治体再編（編著）」
「コミュニティの自立と経営（編著）」
「地域コミュニティの支援戦略（編著）」

●コメンテーター
大泉　太由子　氏



（財）東北開発研究センター主席研究員

地域づくりに関する調査：
「企業と NPO との連携に関する調査」
「住民参加型地域活動に関する研究」
「地域ブランド戦略に関する研究」
東北開発研究センターの自主研究：
「コミュニティ自立に係る調査研究」2004 年～
最近の主な著書：
「創造 地域ブランド（編著）」
「コミュニティ再生と地方自治体再編（共著）」
「コミュニティの自立と経営（共著）」

●コメンテーター
尾田川　勝雄　氏



岩手県軽米町尾田川農園代表

岩手県立軽米高校卒業後、岩手県立浄法寺伝習農場で農業を学び就農
現在、生産農家 196 戸と共に雑穀生産加工販売を全国にて行う。
雑穀オンリーワン企業を目指している。

＜参加登録方法＞

6 月 13 日（金）までにＦＡＸにて氏名・電話番号等をご記入の上、下記窓口へお申し込みください。
（※参加希望者多数の場合は、定員になり次第締め切らせて頂きます。）

切り取らず、この用紙のままＦＡＸにてお送り下さい。

参 加 申 込 書

個人名・法人名		参加人数	
担当者名（法人の場合）		電話番号	

窓口（送信先）▶▶▶　東北圏広域地方計画推進室　ＦＡＸ　０２２－２６６－００２４